

行政事業レビューシート (文部科学省)						
予算事業名	ライフサイエンス研究の総合的推進		事業開始年度	昭和49年度		作成責任者
担当部局長	研究振興局		担当課室	ライフサイエンス課		ライフサイエンス課長 石井康彦
会計区分	一般会計		上位政策	ライフサイエンス分野の研究開発の重点推進		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計 画、通知等	-		
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	革新的な創薬等の実現に向け、国際競争の激しいライフサイエンス分野において、効率的・効果的に研究開発を推進するため国内外の研究の状況や社会のニーズ等を把握するの実態調査を行うとともに、ライフサイエンス分野の中でも特に重要な先端医学研究、研究基盤整備の推進方策について検討を行う。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	ライフサイエンス研究を総合的に推進するため、ライフサイエンス研究に関する実態調査、および先端医科学研究の推進や研究基盤整備の推進に関する方策の検討を行う。					
実施状況	ライフサイエンス研究に関する実態調査については、業務支援員が9月に退職しその後適切な人員が確保出来なかったため、執行率が低下することとなった。先端医科学研究の推進や研究基盤整備の推進に関する方策の検討については、外部の有識者を招いての調査会の開催等を実施。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	18	15	13	13	-
	執行額	18	14	7		
	執行率	100.0%	94.0%	55.4%		
	総事業費(執行ベース)	18	14	7		
自己点検	支出先・ 用途の把 握水準・ 状況	・本事業にかかる経費は、文部科学省において直接執行しており、会計規則に基づき適切な処理に努めている。				
	見直しの 余地	・必要な経費を精査し、適切な予算要求に努めるべき。				
予算 監 視 の ・ 所 効 見 率 化	1. 事業評価の観点:この事業は、ライフサイエンス研究の効率的・効果的の推進に向けた調査や研究基盤整備の推進に向けた検討等を行う長期継続事業であり、平成21年度は予算の執行率も低くなっている。 2. 所見:20年以上続く長期継続事業であり、現行のままの一つの事業として存続しなければならない特段の必要性が認められないことから、いったん廃止し整理統合すべきである。その際、予算執行の実績を的確に把握し、予算との差異の要因等を十分精査しつつ、予算を縮減すべきである。					
補 記	※各欄に記入できなかったことを記入					

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

A. 文部科学省

7百万円

庁費 0.1百万円
非常勤職員手当 7.0百万円
委員等旅費・諸謝金 0.3百万円

革新的な創薬等の実現に向け、国際競争の激しいライフサイエンス分野において、効率的・効果的に研究開発を推進するため国内外の研究の状況や社会のニーズ等を把握するの実態調査を行うとともに、ライフサイエンス分野の中でも特に重要な先端医学研究、研究基盤整備の推進方策について検討を行う。

A.文部科学省			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
会議費	議事録作成等	0.1			
人件費	調査員、業務支援員給与	7.0			
諸謝金・旅費	会議出席謝金、会議出席旅費等	0.3			
計		7.4	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)